



よつば小だより

令和7年10月29日 第22号
守口市立よつば小学校
06-6901-5425
発行責任者 校長 横山 美香



教育目標： 志をもってよく学ぶ 心ゆたかな たくましい子

～学力向上に向けた取り組み～

4月17日に実施された、全国学力・学習状況調査とすくすくウォッチ(小学生すくすくテスト)の調査結果をよつば小だより第20号と第21号でお伝えしました。これらの調査の結果は、特定の学力や学習状況の一部と受けとめており、学校の教育活動の一側面でしかないと考えています。第22号では、これらの調査結果を踏まえ、よつば小学校の学力向上に向けた取り組みについてお伝えし、できることを学校と家庭が連携して一緒に考えていく機会にしたいと思います。

◎調査の結果より



成果

- ・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり、グラフから、項目間の関係を読み取ったりすることの力はついてきています。
- ・「自分の考えをノートに書いている」「課題解決に向け自分で考え、自分から取り組む」「話し合いをするとき、友達の意見を最後まで聞いている」の肯定的回答が高くなっています。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「分からないことや詳しく知りたいことをがあたときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか」の肯定的回答が昨年度より高くなっています。日々の授業改善が進んできていると考えられます。
- ・1日当たりの勉強の時間(30分以上)は、国が約8割、府が約7割、本校が約7割で、昨年度より高くなっています。

課題

- ・国語・算数・理科とも記述式の問題の正答率が低いです。
- ・国語では、最後の大問の無解答率が高くなっています。
- ・指定された条件で説明することに課題がみられます。
- ・ローマ字や漢字の書きなど技能の定着に課題があります。
- ・「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」の肯定的回答が57.9%「自分の考えを積極的に発言している」の肯定的回答が54.8%で発表することに課題があります。
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」の肯定的回答が77.6%と国や府よりも低くなっています。



◎今後の取り組み

○基礎基本の定着と学習体力の育成をする

- ・国語の漢字（特に書く力）、算数や理科の図形の性質や基本語句の定着を図る
- ・「ミニテスト」「反復練習カード」などで継続的に取り組む
- ・興味を持たせるような声かけや導入を心がけ、学習に向かいやすくする

○必要な情報を読み取り、選び取る力を育成する

- ・要約する練習をする
- ・グラフや資料を読み取って、自分の言葉で説明する練習をする



○自分の考えを「根拠をもって説明する力」を育成する

- ・「なぜそう思ったのか」を話すペアやグループ活動
- ・「どこが違うのか」をペアやグループで話し合う

○問題解答の持続力・時間配分の意識を持たせる

- ・時間内に最後まで解ききる練習



○「考えを説明する力」を継続して育成する

◎家庭へのお願い

学校と保護者が相談し合える関係づくり

- ・学校だより等で学校での取り組みを発信していく。
- ・学校と家庭が連携を深めていく。



規則正しい生活の継続

- ・毎日、朝ごはんを食べる、毎日同じくらいの時刻に寝る・起きるなど、規則正しい生活を送るようにする。
- ・ゲーム機、タブレット、スマートフォン等で動画を見たり、ゲーム等で遊んだり、SNSをしたりする時間が長時間にならないように、使用する時間を決める。

学習の進度や状況を共有する

- ・毎日の宿題のチェックをする。
- ・家庭で宿題の確認をする。（音読を聞く、課題ができているかなど）
- ・自分で決めた自学自習ができるように一緒に内容を考える。



子どもと向き合う時間を確保する

- ・ねばり強く子どもの話を聞く。子どもにねばり強く話をさせる。（最後まで、分かるように話をさせる）
- ・普段の生活の中で、子どもに考えさせるような言葉を投げかける。（「どうして？」や「なぜ？」など）